

会員企業対象に手話出前講座

出席者が実践通し学ぶ

岩見沢商工会議所 全道ろうあ者大会歓迎

【岩見沢】岩見沢商工会議所(松浦淳一会頭)が、会員企業を対象に「手話」の普及に乗り出した。聴覚障がい者とのコミュニケーションを図る狙いで、市の手話出前講座「どこでも手話」を利用。20日には、同会議所で1回目の講座があり、同会議所の職員らが楽

しみながら手話を学んだ。

9月に市内で開かれる「全道ろうあ者大会」で、全道各地から集まる参加者をまちくるみで歓迎しようと企画。手話は脳を活性化する効果もあり、社員の健康増進を図る「健康経営事業」にも位置づけて推進することにした。

1回目の講座には、商工会議所の職員や武蔵商事の社員ら11人が参加。岩見沢ろうあ協会の板井田慶子さんから手話による自己紹介などを教わり、1人ずつみんなの前で披露した。

好きな食べ物や趣味をジェスチャーで発表する場面もあり、板井田さんから「手話がでなくても通じるのが大切」と助言されていた。参加した商工会議所職員の畠山歩美さん(35)は「手話は難しい印象があったけど、講座で身近になった。今回学んだことを生かして、耳が聞こえない人と関わってみたい」と話した。

講座は1回原則90分間で、市の健康ポイント対象事業(2ポイント)でもある。同会議所の石崎健治専務理事は「会員企業には、健康経営の一環としても

積極的に取り組んでもらえれば」と呼びかける。

講座の申し込みは、市福祉課障がい者福祉グループ(TEL0126・35・4112)、または商工会議所(TEL0126・223445)へ。
【末永直樹】



板井田さんから手話を教わる参加者